

これまでの感謝の気持ちを伝えよう

5月1日(日)／杉戸中学校（内田1丁目）

杉戸中学校にて、離任式が開催されました。他校へ赴任された9名の先生が出席されました。離任式では、お世話になった先生へ、生徒からのお手紙の朗読と花束が渡されました。中には、感極まって涙ぐみながら手紙を読む生徒もいて、とても暖かい会となりました。

（広報特派員 染谷 美由紀）



響き渡る本格的な歌声

4月2日(日)／宝性院 観音堂（杉戸四丁目）

「観音クラシックコンサート」が開催され、プロの歌手2人による世界の名曲が披露されました。美しくかつ朗々とした響きが観音堂に満ちあふれました。

（広報特派員 長島 常夫）



楽しい歌で明るく盛り上がりよう

5月14日(日)／すぎとピア（大字堤根）

すぎとピアにて、「福山のぼる&歌仲間チャリティーコンサート」が開催されました。たくさんの方が参加し、歌手気分であい、楽しんでいました。華やかで盛大なコンサートとなりました。

（広報特派員 渡辺 光子）



力を合わせてキレイにしよう

4月22日(土)／杉戸中学校（内田1丁目）

少しひんやりとした肌寒さが残る中、杉戸中学校の校庭や駐車場周りの草むしり、落ち葉集め、小枝やゴミ拾いを実施しました。生徒、先生、保護者、ボランティアが一丸となり、1時間半ですっきりキレイになりました！

（広報特派員 染谷 美由紀）



地域話題を撮って出し

杉戸町広報特派員を紹介します

問合せ 秘書広報課 広報広聴担当 内線286

杉戸町広報特派員とは？

町では、住民参加の広報紙づくりをするために、杉戸町広報特派員（以下、特派員）を委嘱しています。

特派員は、地域内の身近な話題、出来事などを取材し、広報記事を執筆したり、特派員会議に出席して、広報に関する意見・提案などを行っています。

令和5年度の広報特派員は9名。皆さんのお住まいの地域へ取材・撮影に伺う際は、ご理解・ご協力をお願いします。

令和5年度杉戸町広報特派員の氏名（敬称略）

氏名	氏名
畠山 千鶴子	染谷 美由紀
渡辺 光子	坂上 秋子
谷藤 恵美	坂本 吉江
長島 常夫	荻原 千秋
富澤 一郎	



▲特派員の目印「名札」と「腕章」

町ホームページでは、広報特派員の活動や広報紙に載せきれなかった記事を掲載しています！（QRコード）



6月11日(日)／令和5年度第1回「マチナカリビング」

マチナカで繋がる

東武動物公園駅東口通り線（杉戸三丁目）にて、令和5年度第1回目の「マチナカリビング」が開催されました。今回は、昨年度に「わたしたちの月3万円ビジネス」を卒業した受講生がパンやお菓子の販売からワークショップなど、様々な種類のお店を出店しました。当日は、あいにくの雨でしたが、子どもから大人まで多くの方が来場され、会場には、笑顔があふれていました。

今年度のマチナカリビングは、8月・10月・12月の全4回開催予定です。今後のマチナカリビングもお楽しみください。

市街地整備推進室

マチナカリビングとは、道路や河川、広場などの「公共の遊休不動産」をまちづくりに賛同する方々と連携して実践し、ほしい暮らしを形にする社会実験です。

今後のスケジュール等は、町ホームページ（右QRコード）をご覧ください。



5月28日(日)／江戸川クリーン大作戦

きれいな河川環境を維持しよう

江戸川堤防敷にて「第43回 江戸川クリーン大作戦」が実施されました。近隣住民の皆さまや自治会など多くの方々にご参加いただき清掃活動を行いました。

都市施設整備課



今後も美しい河川環境の維持のため、ご協力をお願いします。

6月2日(日)／寄付金贈呈式

寄付をいただきました

杉戸ロータリークラブ様から、地域福祉推進のため、現金30万円の寄付をいただきました。

社会福祉協議会



（写真左より）窪田町長（社会福祉協議会会長）、中川会長

町長コメント：寄付をいただきましたことは大変ありがたく、有効に活用させていただきます。

5月14日(日)／第38回春季テニス（硬式）大会

チームワークで勝利を掴む

南テニスコート（大字堤根）にて男女合わせて46ペアが熱戦を繰り広げました。

社会教育課



大会結果／男子 優勝「大川翼・佐藤正幸」、準優勝「関博之・倉持吉伸」、3位「豊田裕光・山上嘉久」「日置誠・佐久間一義」、コンソレ優勝「山口裕貴康・上原隆志」女子 優勝「大川直美・山下希代子」、準優勝「森田智愛・細井美由紀」、3位「田中優子・田中優子」「牧良子・岩田美智子」、コンソレ優勝「植木寿子・土岐由美子」

5月20日(土)／農のサポーター育成塾

農業の応援団になろう

アグリパークゆめすぎと（大字才羽）にて、農のサポーター育成塾が開講しました。全10回の講習に、8名の塾生が参加し、援農ボランティアとして活動するために知識と経験を積んでいきます。

農業委員会事務局



令和3年度から農家の担い手不足や人手不足に対応するため、生産現場で農家の農作業を手伝う援農ボランティアを育成することを目的としています。